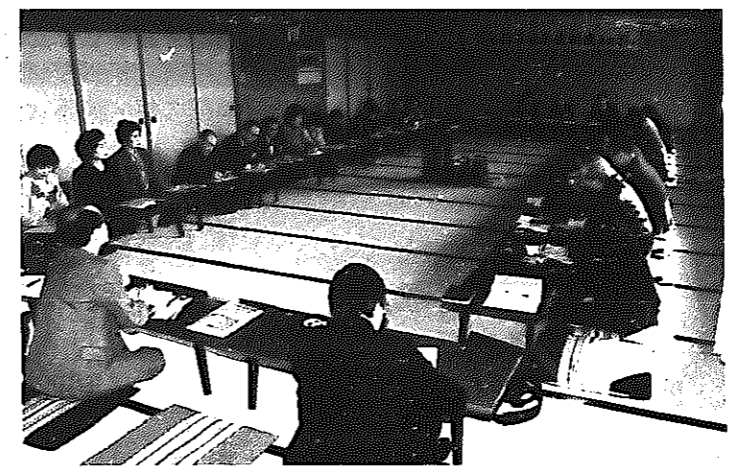


特集 有志指導者座談会
市民の皆さんの活用が
制度活性化の栄養源

有志指導者座談会が二月六日、青年教育センターで、指導者二十六人が出席して行われました。生涯学習の推進のため発足した「有志指導者派遣制度」は、間もなく二年になります。この座談会は、より多くの人から活用される制度を目指し、生涯学習推進協議会が主催したもので、四年度の活用状況の報告や自主講座の体験談、制度充実のための話し合いが行われました。



市民に徐々に浸透
活用件数が増加

有志指導者派遣制度活用件数

分野	4年度	3年度	増減
A 趣味・けいこ事	24	15	7
B 家庭生活・日常生活	2	3	△1
C スポーツ・レクリエーション	15	10	5
D 教養	10	6	4
E 伝承文化	1	3	△2
F その他	2	0	2
合計	54	37	15

市民の学習活動を援助するため、前年度からスタートした「有志指導者派遣制度」。この制度は、市民の皆さんが「いつでも」「だれでも」「どこでも」気軽に

に学習できるような、指導者の発掘、学習者と指導者の仲介、情報の提供を行うものです。同制度の三年度と四年度（五年一月末現在）の活用状況を比較すると、四年度は活用件数、派遣指導者実人数とも増加しました。活用件数では、十七件多い五十四件。指導者実人数でも十六人多い三十八人が指導に当たりました。

特に今年度は、学習希望者からの依頼を待つだけでなく、指導者自身が企画した自主講座を開講。八講座を募集した結果、太極拳、日本人形、ちぎり絵など六講座を開講しました。また、行政での活用が多く見られたことも今年の特徴。公民館事業や学校事業、青年教育センター事業などに活用されました。

複数の指導者での
対応も必要

座談会に先立って、自主講座を開講した星野博樹さん（古川団地）と小林すみさん（保坂）が、指導体験を発表。太極拳を指導した星野さんは「受講者が

ら、さすがにいい気分になると言われ、うれしく思った。受講者が約三十人と多く、期間も短かったため、名前を覚えきれず残念な面もあり、名札などの用意も必要ではないか。仕事を持っている身なので、決まった曜日、時間をやり繰りしなければならず、複数の指導者での対応も必要では」と話していました。手作り日本人形を指導した小林さんは「参加者が熱心に取り組んでくれてよかった。作品完成に時間が足りずに講座を二回延長したが、もう少し期間設定を考える必要があった。せっかくの制度をもっと活用するようPRが大切。自分でも積極的に参加者を探そう努力したい」と今後の意気込みを語ってくれました。

分野別の話し合いで
指導のレベルアップ

座談会では、指導を通じた体験談や、制度上の改善策などが話し合われました。その中で、分野別の指導者が集まって、共通の問題を話し合う機会を設けることや、積極的な行政での活用が要望されました。

分野別の話し合いを設けることは、指導者同士のコミュニケーションが図られ、指導のレベルアップ、問題点の解決と複数



▲有志指導者自主講座（手作り日本人形）

事務局の社会教育課では、座談会の意見を反映し、さらに活用される制度となるようPRに務めたいとしています。有志指導者自主講座は、今年度引き続き拡充して実施。さらに、社会教育全般に関して、市民を対象にアンケート調査を予定。この結果を受けて、生涯学習の推進に一層努力していく意向です。

市政Q&Aは
休ませていただきます。

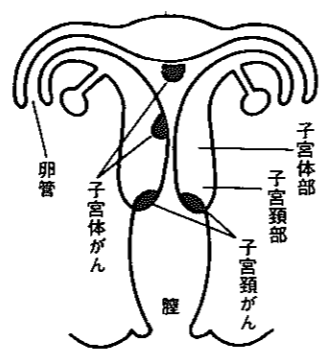
広がり、健康家族 22

保健センター
☎373-4300

受けよう
子宮がん検診

がんによる死亡原因のうち、大腸がん、肺がん、乳がんが増加している中で、子宮がんは減少しています。これはがん検診によって子宮がんが早期に発見され、生存率が高いためと考えられます。

●子宮がんには二種類ある
子宮がんには子宮の入り口部分にできる「頸がん」と、奥の部分（体部）にできる「体がん」



があります。日本女性では約九〇％が頸がんですが、最近は生活様式の欧米化に伴って、欧米女性と同様に、体がんや、卵巣がんが増加してきています。

●子宮がんの症状
不正出血、おりものの異常、下腹部痛などの症状に注意しますが、初期にはほとんど症状がありません。症状に気付いてからでは手遅れになります。

●年一回は検診を

症状のないうちに受けて、早期発見につながるのが検診です。頸がんも体がんも、早期に発見すればほぼ百％治ります。

市では三十歳以上の女性を対象に子宮がん検診（頸部を中心に細胞診をする検査）を実施しています。約二千三百人の受診者のうち、一、二人が早期発見されています。しかし、受診率は約二八％で、受診していない人が多いのが気掛かりです。

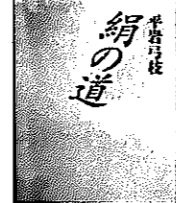
女性は三十歳を境に子宮がん、乳がんなどが、急激に増えはじめます。また、閉経後は体がんの危険性が高くなります。検診ではがん以外に子宮筋腫、びらん、膣炎なども見つかりますので、年一回は検診を受け、自分の健康を守りましょう。

市立図書館

今月の受け入れ図書

▶開館時間 ※第2・4月曜、祝日は休館
月・水・木・土・日曜日
午前9時～午後5時
火・金曜日 午前9時～午後8時
▶貸し出し 1人1回4冊以内で、2週間借りられます。

今月の一冊



絹の道
平岩弓枝

おにの子フウタ（森山京）▽森は呼んでいる（及川和男）▽あんなちゃんが行く（丘修三）▽さようなら、妖精アッチー（和田登）▽えんそくのおみやげ（はまみつお）▽春を待つ子どもたち（増村王子） ほか多数

商社の御曹司と人気デザイナー一族。シルクを愛した男と女のそれぞれの絹への思いが、また、新しい愛を生む。イタリヤ、スイス、日本、香港で繰り広げられる、シルクを巡る芳醇なるロマンを描く。

広報クイズ 48

今月の問題

- わたしのおかあさんに登場の桜井美香ちゃんが、お母さんをハラハラさせるお手伝いは？
A 食事の支度 B おふろの掃除
C 秋田犬の散歩
(ヒント=14ページ)
- 白井・戸石小の統合が決定。白井小の創立は明治6年、では戸石小の創立は？
A 明治7年 B 明治15年 C 昭和2年
(ヒント=4ページ)
- 白根総合公園に建設する予定の、テニスコートの面数は？
A 12面 B 10面 C 6面
(ヒント=4ページ)

応募の方法

はがきに答えの記号（例●-A）、住所、氏名、年齢、広報しろねへのご意見、ご希望などを書いて送ってください。全問正解者の中から抽選で5人に500円の図書券を、3人に県立自然科学館の招待券をペアで差し上げます。

□あて先 〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所 広報クイズ係 □締め切り 3月19日（金）必着 □抽選 3月22日（月）に市役所に来られた人に抽選していただきます □発表 4月1日号

当選おめでとう（敬称略）

- 【500円の図書券】 ▶阿部勉（和泉） ▶真保英子（下木山） ▶小林弥江子（白根） ▶山田由美子（七軒） ▶関根勝彦（茨曾根）
【県立自然科学館招待券】 ▶清水都生（大通2）
▶小菅嘉奈子（新飯田） ▶小林梓（戸頭）

応募はがきから

○まちの話題をもう少し多く取り入れてもらいたい。（K.M） ○広報クイズをもう少し難しくしたらどうでしょう。そうすると小学生の応募が無理になるのでしょうか。（40歳） ○毎月楽しく読ませてもらっています。大風と歴史の館、下水道の基本構想は子供のためにいろいろと考えさせられました。（28歳）



抽選は2月16日に、市役所で安宅威夫さん（新潟市）にお願いしました。先月号の正解は●A●C●B。応募総数は43通で、すべて全問正解でした。